

2023年2月20日発行

かわら版 Vol.17

なりかわ

成川まさゆき後援会

〒938-0014 富山県黒部市植木 107-7

TEL&FAX(0765)57-1189

Mail/masa.narikawa@gmail.com

黒部を未来へつなぐ

ごあいさつ

【気持ち新たに3期目スタート】

昨年の11月1日の議員3期目スタートにあたり、柴沢議員と2人で会派「自民志創会」を結成しました。12月13日には、会派の令和5年度予算に関する要望書を市長に提出いたしております。また、柴沢議員が副議長に就任し、慣例で正副議長と監査委員は議会質問をしないこととしておりますので、私が個人質問と併せて、会派代表質問をさせていただきました。

今まで2期8年の間、議員として活動してきた中で見てきたものは人の生活です。

スポットライトが当たらない陰の部分の少しでも明るくしたいと活動をしてきたように思います。それもサラリーマン時代の観光業に携わった経験が生きています。生活している人が笑顔になることこそ、外からのお客さんを呼ぶ1丁目1番地。そのために議会で質問をし、私たちの暮らしを良くする提案をして、実現させてきました。

今後も皆さんの負託に応えられるようにしっかり取り組んでいきますので、ご支援の程よろしく願いいたします。

令和5年2月吉日 黒部を未来へつなぐ 成川まさゆき

MASAYUKI NARIKAWA



所属

自民志創会 代表

生活環境委員会 委員

議会運営委員会 副委員長

デジタル化特別委員会 委員長

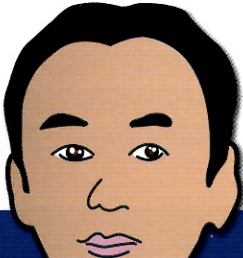
議会改革特別委員会 委員



2022.12.12 令和5年度予算編成に関する会派予算要望書提出



中央小学校前での毎朝の交通安全9年目



黒部は今、分岐点！
先人の努力を次世代へ
つないでいきたい。



なりかわ

成川まさゆき

facebookで活動公開中！



2022.12 個人質問

【令和4年12月議会 個人質問】

1. 「道の駅」周辺エリアの連携強化策について

2022年4月に「道の駅」KOKOくろべがオープンし、隣接して温浴施設も建設中で、周辺には運動公園やアクアパークなど市民が集う施設もある。これらを繋いで、エリア全体で呼び込む仕掛けづくりが道の駅の集客UPに繋がると考える。



「道の駅」周辺マップが設置されました

【問】「道の駅」の紹介で周辺施設も含めたエリアのPRも加えてはどうか。

【答】周辺施設への誘導については、現在、「道の駅」のホームページに掲載している周辺スポット図と施設紹介を地域振興施設内に掲示する。

総合公園や体育センター、美術館、さらには、来春開業予定の温浴施設等といったそれぞれの施設における大会やイベント、企画展などと相互連携を図りながらPRを行うことで、施設同士の往来が活発となり、当該エリア一帯の魅力アップに繋がりたい。

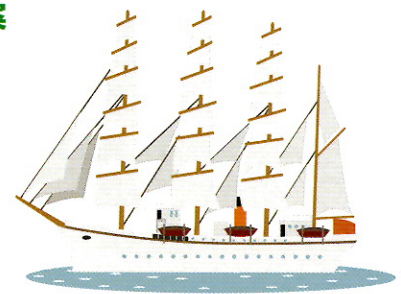
【まさゆきの視点】

射水市にある海王丸パーク。ホームページには「海

王丸パークの楽しみ方」というページがあり、エリア全体で楽しめるようにPRしている。

また、富山市の富岩運河環水公園も色んな施設が集合し、周遊ルートも提案されている。

黒部の「道の駅」周辺エリアも過ごし方の提案や見せ方、PRの仕方を工夫するだけで、行きたくなる場所になると思う。



【問】ボルダリングジム、スケートボード練習場、ドッグラン、プレーパーク等、「道の駅」周辺エリアに近隣地域にはない施設整備はできないか。

【答】「道の駅」周辺エリアの施設整備については、「道の駅」隣接の誘致ゾーンに整備事業者を誘致し、北側敷地にR5春開業予定の「温浴施設」を整備している。

また、南側敷地に、「宿泊施設や商業施設」等の整備計画があり、これらの開業で、新たな賑わいが生まれるものと期待している。

近隣地域にはない施設整備については、市域全体の土地利用を考える中で、「道の駅」周辺エリアのあり方や果たす役割を踏まえながら今後、検討する。

【問】ぐるっと公園を一周できる道があれば今まで以上にエリア全体を利活用できる。「道の駅」と総合公園の間に歩道橋を架けてほしい。

【答】総合公園や体育センターとは、施設相互が連携しあうことにより、一層賑わいや魅力のある公園、「道の駅」になるものと考えている。

このような中で、歩道橋については、以前から多くの方々から設置を望む声があり、施設相互の連携を図っていく上で、一体的利用には一定の効果があると考えている。来春開業予定の温浴施設の利用状況などを見極めながら、引き続き検討する。



皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください

**後援会
連絡先**

成川正幸（なりかわ まさゆき） TEL (0765)57-1189
黒部市植木 107-7 FAX(0765)57-1189
携帯 090-1317-7155 Mail : masa.narikawa@gmail.com



2. ストップ人口減少に向けて

(問) 行政区ごとの人口ビジョンと地域戦略の策定をしてはどうか。
(答) 地域単位で算出すると素材数が少なく大きな誤差が生じ、適切な将来推計値を得ることができないため、行政区ごとに人口ビジョンを策定せず、市全体で策定することとしている。地域戦略についても、市民全体で自分たちのまちのことを考えることは重要であり、自分の地区を考えてもらう材料として、参考となる資料や値を示すなど、行政区ごとの議論を何らかの形でバックアップしたい。

【まさゆきの視点】

市区町村の人口動向を見るには、各行政区、黒部で

言えば自治振興会や町内会単位の人数を見て合算したものになるのではないかと。そして地域戦略も山から海までである黒部市では、地域ごとに特色があり、強み弱みも違うので、画一的に考えていても実情に合わないことが起きてくると予想する。

そのためには、行政と市民が一体となって行政区ごとの人口ビジョンと地域戦略の策定が一番大事だと思う。他自治体でやっているのに黒部市ができないことはないと思っている。

3. 集落支援員制度について

(問) 黒部市にも集落支援員制度の導入をしてはと思いますが、どうか伺います。
(答) 先進地の効果等の研究と各地区役員のなり手不足の状況や地区の課題等について自治振興会等と議論した上で、導入に向け検討していきたい。

【まさゆきの視点】

集落支援員は、地域の実情に詳しく集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材が、市からの委嘱を受け、市と連携し、集落への目配りとして集落の



2022.12 代表質問

巡回、集落の状況把握、その結果を踏まえ集落のあり方についての話し合いや、集落の維持・活性化に向けた具体的な取り組みを促進するために総務省が行っている制度。

これから本気で地域を守っていくためには、ボランティアで限界がある。仕事としてやってもらう人が必要ではないか。

4. 学校給食費無償化について

(問) 学校給食費の無償化を実施してはどうか。
(答) 給食費は保護者にも一部負担していただくべきものと考えている。市としては、多子世帯や生活困窮世帯への支援を引き続き実施するとともに、今後もコロナ禍や物価高騰等による社会情勢等を注視しながら、未来を担う子どもたちと保護者の支援に努めていきたい。

【まさゆきの視点】

生活困窮世帯に充てた政策は当然。
 本市の未来を担う子どもたちと保護者を支援し、教

育環境を整えることは大変重要。こういった支援策は一律に支援するといったことで生活にゆとりが生まれ、まちにお金を落としてくれる。商店がうるおえば税収として戻ってくる。他人に優しくするためには、先ず自分たちの生活基盤をしっかりとさせること。住みやすいまちには人が集まり人口は増加する。人口減少ストップのためには大変重要。



【問】市外へのPR内容の検討について

(答) 黒部市からの転出をくい止めるためには制度を充実させて、結婚しても出ていかないように周辺自治体との差別化を行うことが必要ではないかと考える。本市に住みたいと考えている人にターゲットを絞って、本市の取り組みをPRをしていくことでもっと多くの方に興味を持ってもらえるようになるのではないかと。

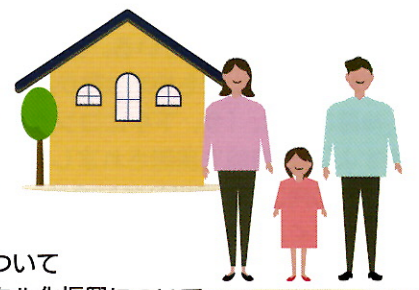
【問】市外へのPR内容の充実と方法について検討をしていただきたいと思うが。

(答) 移住定住関係人口の拡大には、本市の魅力を実効的にPRすることが重要であると考えている。基本的なマーケティング手法かもしれないが、黒部市での生活、住まいや働き方、子どもたちの成長

をイメージしやすいようにPRすることが一番届くのではないかと考えている。

R4.12 会派代表質問

1. 令和5年度予算編成方針について
2. 公共施設の管理活用について
3. 教育・文化施設のデジタル化振興について
4. 防災・減災対策について
5. 行財政改革の推進について



なりかわ 黒部市議会議員
成川まさゆき



facebook®で
活動公開中!

行政視察レポート

吹田市 後藤市長に自治体連携「NATS」の取り組みについて伺ってきました。

アライアンス型 圏域デザインへの挑戦



「今、下手にコンクリート建造物作らさん方がええですよ。」

「市役所の建替えの話があるが20年後を考えた時に本当に建物があるのか。今、急速にDXが進んで市役所に来なくても良いシステムを急速に作ろうとしている。それから、市役所が何で吹田にないとダメなのか。特に指令センターはクラウド上にあるから、どこにあったって良い。そうは言っても机と椅子、場所が要るので、これからガラガラになってくるであろうビジネスビルの貸しオフィスを借り上げる。市民サービスを上げる為に、吹田市内に6か所の市役所を作り、そこではしっかり対面対応が出来るようにする。本部のマネジメントするところは実は新大阪のオフィスにある。そうになったら、何で豊中市と別の仕事しなきゃいけないのか。総務に関して、人事に関して、この11市がそういう意味で情報連携できる部分は十分あると思っている。DX連携。そういうのが広がれば仕事も変わってくる。でも地域は動かんの、地域の仕事は絶対に残る。」

後藤市長は、「今、下手にコンクリート建造物作らさん方がええですよ。」と持論を展開されました。そして最後の言葉は「夢は煩わしさの向こうにある」と。今後、さらに人口減少とデジタル化が進行してくると予想される社会。黒部の未来を考える上でとても参考になった視察でした。そして、後藤市長から、父親は富山出身ですという言葉に親近感が湧きました。

今回学んだ事に関しては、定例会などを通じて提案していきたいと思っています。

4人の市長が「おもしろい」で繋がったゆるい連携。西宮のN、尼崎のA、豊中のT、吹田のS、この4つのカタチはカシューナッツに似ているという事でナッツ。結成して3年ぐらい経つが、協定が無いのが特徴。最近では、周囲の市と合わせてグレータンナッツと勝手に呼んでいるそうです。

まじめに考えると合併か、一部事務組合か等、圏域を法制化する。そんな中で、定住自立圏構想とか、連携中枢都市圏だが、全く興味ないという事。

市長同士の情報交換は、グループLINE。

自治体の自助、互助、公助。自治体の互助が進まない。阻害要因は、「ライバル関係」、「過度な地域愛」。自治体間の勝った負けたに乗ったらダメ。

NATSの主な連携取組

- ① 地球温暖化対策基本協定（レジ袋など）
- ② 気候非常事態共同宣言（同時に出す）
- ③ 労働相談
（どこに相談しても良い・セカンドオピニオン）
- ④ シェアサイクル共有
（傘をどこに置いてても・自転車の乗り捨てもOK）
- ⑤ 大学連携政策研究
- ⑥ ネットワーク人事異動（4市で人事異動）
- ⑦ 職員マッチング（職員同士のお見合い）



皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください

後援会
連絡先

成川正幸（なりかわ まさゆき） TEL (0765)57-1189
黒部市植木 107-7 FAX(0765)57-1189
携帯 090-1317-7155 Mail : masa.narikawa@gmail.com





行政視察レポート

明石市 泉市長に子ども施策について伺ってきました。

やさしい社会を明石から～地方から日本を変える～



創りたいのは大きなまちでも金持ちのまちでもなく
優しいまち。

「こどものまち明石」市長になった瞬間から始めた
のが、「明石からはじめる」「明石から広げる」です。
ファーストペンギンになる。

選ばれるまち明石

- ・本当に住みやすい街大賞2022in関西 ……第1位
- ・【関西】住みたい駅ランキング 人丸前駅 ……第1位
- ・子育て自治体サービスが充実 ……第1位
- ・全国戻りたい街ランキング2021 ……第1位
- ・生活満足度（地域ブランド調査2020） ……関西第1位
全国2位

明石市の人口は10年連続増加。兵庫県で唯一人口増加で全国の中核市で人口増加率第1位。

子育て施策など市民に寄り添うまちづくりを進める事でまちの好循環が続いている。



地域経済を回すには、子ども施策が一番効果が高い。理由は、子どもにお金を使ったら生きたお金が回るから。単に可哀そうな子どもを救うとか、少子化だからしょうがなくやっているのではなく、子どもを最重点化したら明石のまちが儲かるという事。儲かったら人は優しくなる。自分の懐が温まらないと誰が優しくなるのか。商売屋を儲けさせなきゃ駄目だと思っていたので、それを明石市長として子どもを最重点化するカタチでまちを回すというか、経済を回すようにした。

住みやすいまちには人が集まる。人口増を狙っているのではなく、住みやすいまちを創っている。



強烈な思いとリーダーシップ

冒頭に、私の考えを全国に広めたいので、しっかり聞いて欲しいと泉市長からの言葉で始まり、自信たっぷりでマシンガンのようなトークであつという間の2時間だった。話に吸い込まれるというか、ココロが持っていられるとはこの事かと思わせる絶妙なトーク。なぜこの施策をするのか。施策を実行したらまちはどうなるのか。たくさんヒントをいただいた。



なりかわ 黒部市議会議員
成川まさゆき



facebookで
活動公開中!



地域課題解決の良い提案が出来るように日々奮闘、全国各地を走り回っています。



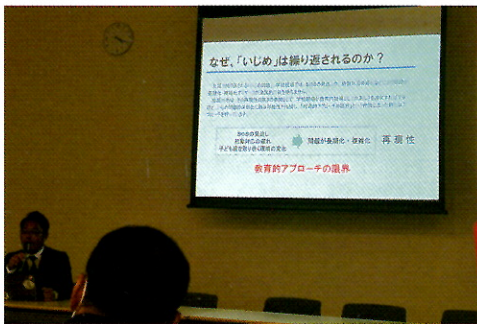
2022.5.31 夕張市役所視察



2023.1.21 炊き出し活動



2022.5.21 森の防潮堤プロジェクトで植林 (宮城県岩沼市)



2022.10.26 参議院会館研修「いじめ対策」



2022.5.10 金子総務大臣と



2023.1.9 フードバンク活動



2022.6.9 安満遺跡公園視察 (高槻市)

成川まさゆきの情報発信

stand.fm

黒部市の今や議員活動、地域づくり活動など日々の活動を毎日音声配信しています。

「なりかわチャンネル」

facebook.

日々の活動記録を配信しています。

twitter

主に stand.fm を配信

Instagram

たまに犬と花の写真



私の声を聴いてください



皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください！

なりかわ facebook で活動公開中！

成川まさゆき



後援会
連絡先

成川まさゆき後援会

TEL(0765)57-1189 住所/黒部市植木107-7

FAX(0765)57-1189 携帯 090-1317-7155

Mail : masa.narikawa@gmail.com

成川まさゆきオフィシャルサイト

